



## ライセンス第2委員会（委員数 35名／担当：武田常務理事）

### ◆ 委員会構成

委員長 1名、副委員長 6名、委員 28名：計 35名

3小委員会体制

### ◆ 活動方針

ライセンス契約を含む技術関連契約等に関する国内外の実務上の課題に対する検討、要求度の高い情報の収集と整理、さらにこれらに基づく報告、提言を行うことにより、会員企業の当該契約に係る実務に貢献する。

### ◆ 内容の概略

第1小委員会：特許譲渡、ライセンス等によるマネタイズに関する調査・研究

第2小委員会：リーガルテック（AI等）を用いたスマートな契約書作成、審査支援に関する調査・研究

第3小委員会：（国内・米国）産官学連携に関する調査・研究

### ◆ その他の活動

・ 特許庁・審査官ライセンシング研修（予定）



・ 日本知的財産仲裁センター意見交換会（予定）

～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



## ライセンス第2委員会第1小委員会（委員数 11名）

### ◆ テーマ名

特許譲渡、ライセンス等によるマネタイズに関する調査・研究

### ◆ 狙い

事業（ニーズ）及び知財（シーズ）の両方が多様化する中で、知財取引の枠組み（譲渡、ライセンス、無償開放等）の選定、知財活用（マネタイズ）の考え方を中心に、可能な限り実務的な考察・提言を行う。

### ◆ 内容の概略

以下の観点からの調査・研究を進めている。

- ① ライセンシングによる製造・販売事業を外部に実施させる仕組みの構築
- ② 市場の動向と撤退時期の目利きと特許譲渡
- ③ 事業上の課題（ニーズ）を知財で解決するための手段（ユーティライズ）

### ◆ アウトプット&スケジュール

知財管理誌への論説の投稿（単年度にて完成予定）





## ライセンス第2委員会第2小委員会（委員数 11名）

### ◆ テーマ名

リーガルテック(AI等)を用いたスマートな契約書作成、審査支援に関する調査・研究

### ◆ 狙い

ベンダ及びユーザーへのヒアリングを通じてリーガルテック（LT）に関する情報を収集し、LTが会員企業の知財法務関連業務における課題解決や目標達成にどのように資するのかについて調査・研究を進め、「LTとの上手な付き合い方」について考察・提言を行う。

### ◆ 内容の概略

- ① 調査対象とするLTのサービス分野、製品の検討及び知財法務関連業務抱える課題抽出・整理を行う。
- ② 上記課題の特徴毎に、LTによって、どのようなソリューションが可能か、導入時の留意点は何か等、実務面に着目した検討・深掘りを進める。

### ◆ アウトプット&スケジュール

知財管理誌への論説の投稿（単年度にて完成予定）





## ライセンス第2委員会第3小委員会（委員数 9名）

### ◆ テーマ名

（国内・米国）産官学連携に関する調査・研究

### ◆ 狙い

国内・米国の産学連携について、共同研究開発契約を中心にして、成果の取り扱い等に関する最新動向の調査・研究を進め、産学連携を円滑化するための契約実務について考察・提言を行う。

### ◆ 内容の概略

大学はオープンイノベーション（OI）の拠点として注目を浴びている。そこで、国内については、国内の企業及び大学に直接ヒアリングを行い、連携の成功とは何か、共同研究開発契約における課題等、両当事者に有益な契約実務に役立つ情報について調査・研究を行う。海外については、OI先進国である米国に焦点をあて、調査団を派遣し、その動向について調査・研究を行う。

### ◆ アウトプット&スケジュール

知財管理誌への論説の投稿（単年度にて完成予定）



～世界から期待され、世界をリードするJIPA～